

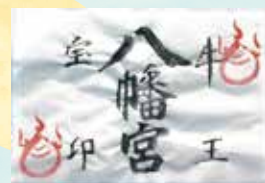
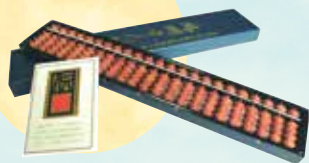
小野市文化財 保存活用地域計画

概要版

小野の歴史文化を

暮らしに活かし、

未来につなぐ



◀計画全編はこちら

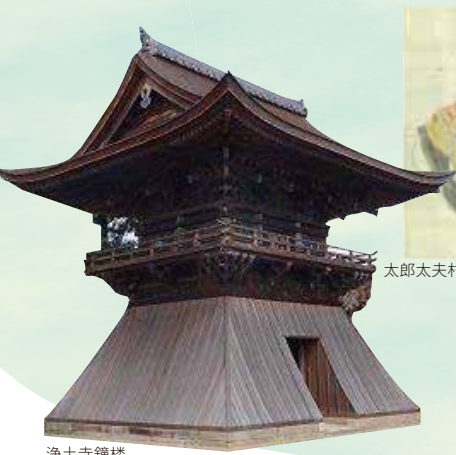
小野市にはこんなにたく

長い歴史の中で、先人たちによって育まれ受け継がれてきた歴史的・文化的・自然的な遺産すべてが「文化財」です（原則として 50 年以上経過したもの）。仏像や古民家、遺跡のようにかたちがあるものもあれば、お祭りや工芸技術のようにかたちのないものもあります。文化財は、「有形文化財」、「無形文化財」、「民俗文化財」、「記念物」、「文化的景観」、「伝統的建造物群」、「その他」の大きく 7 つに分けられます。小野市では、現在 **3,404** 件の文化財を把握しています（令和 6 年 3 月時点）。これらの文化財を地域一丸となって大切に未来に受け継いでいきましょう。

有形文化財

現在 1,546 件把握
(うち指定・登録 40 件)

有形文化財とは、寺院建築、神社建築、住宅（古民家など）、近代建築、土木構造物（橋など）、石造物（お地蔵さん・道標・石塔・鳥居・記念碑など）＜以上、建造物＞、絵画（仏画・絵巻など）、彫刻（仏像・狛犬など）、工芸品（一柳家に伝わる刀や衣服、寺院の鉦鼓など）、書跡・典籍（古い書道の作品や本類）、古文書、考古資料（遺跡から見つかった土器や石器など）、歴史資料（額や棟札、古写真など）＜以上、美術工芸品＞などです。



浄土寺鐘楼



太郎太夫村 (現市場町) 絵図



焼山 (やけやま) 古墳群出土須恵器



檜山町室山地区の
阿弥陀如来坐像



河合中町石造層塔



播州そろばん

無形文化財

現在 5 件把握 (うち指定・登録 0 件)

無形文化財とは、演劇や音楽、工芸技術などの昔から受け継がれてきた「わざ」です。



播州金物 握りばさみ

その他

現在 64 件把握 (うち指定・登録 0 件)

その他としては、昔から伝わる民間説話やそれらにまつわる伝承地があります。



民話をまとめた冊子



国位田の碑

民俗文化財

現在 1,082 件把握
(うち指定・登録 4 件)

民俗文化財とは、衣食住、生業、年中行事（お祭り・地蔵盆・七夕・とんどなど）等に関する風俗慣習、民俗芸能（獅子舞や播州音頭など）等と、これらに用いられる衣服、器具、家屋等、日常生活の中で生まれ、継承されてきた人々の生活の推移を示すものです。



明治時代の私塾の教科書



消防団の法被



垂井町住吉神社
三十六歌仙図
(さんじゅうろっ
かせんず) 絵馬



西脇獅子舞



昔の食器

さんの文化財があります

記念物

現在 706 件把握（うち指定・登録 6 件）

文化的景観

現在 0 件把握（うち指定・登録 0 件）

文化的景観とは、人々の生活や生業、風土が一体となって作り出された景観です。小野市では、調査によって把握されているものではありませんが、水田を主とした農業景観や水辺の景観は本市の特徴的な景観といえます。



鴨池の鴨

記念物とは、貝塚、古墳、集落跡、城跡、生産遺跡（瓦窯跡等）、墓所<以上、遺跡>、庭園、河川、ため池、山<以上、名勝地>、動物、名木・巨樹、地質・地層（化石など）、温泉<以上、動物・植物・地質鉱物>などです。



神明町の阿弥陀堂と大クロガネモチ



収穫前の麦

伝統的建造物群

現在 1 件把握（うち指定・登録 0 件）

伝統的建造物群とは、城下町、宿場町、門前町などの歴史的な集落・町並みのことです。調査では小田町の町並みが把握されていますが、その他にも小野商店街等に一部古い町並みをみることができます。



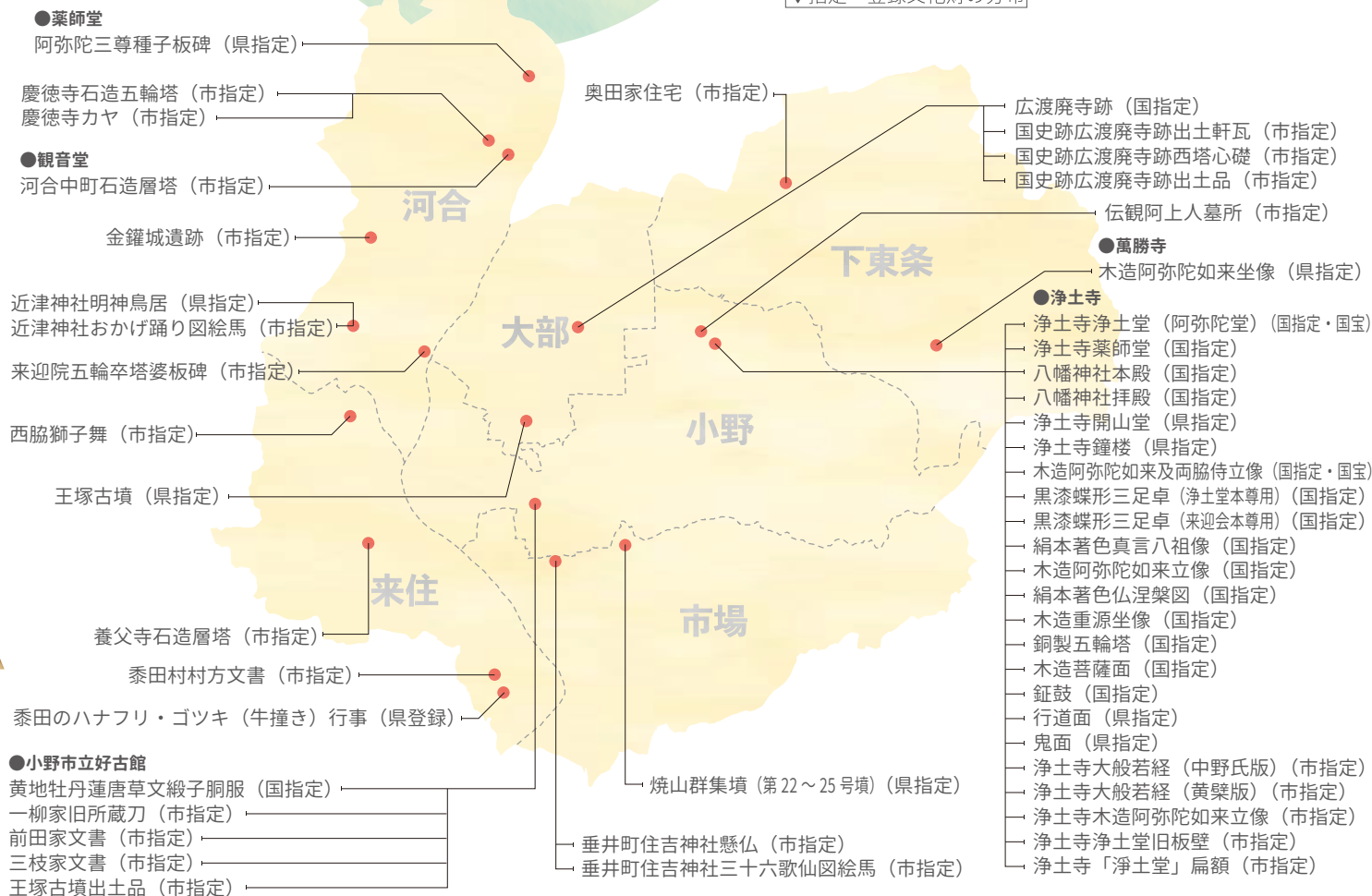
昭和 30 年頃の小野商店街の様子



垂井遺跡の竪穴建物跡

文化財のうち、特に価値の高いものは、国や県、市の指定・登録文化財として保護を図っています。（現在計 50 件）

▼指定・登録文化財の分布



小野市の歴史文化

小野市の歴史文化は、「特徴①大河と段丘を舞台に受け継がれるフロンティアスピリット」、「特徴②人やものの交流が生まれる水陸交通の結節点」という大きく2つの特徴で表すことができます。

さらに、こうした特徴を背景に育まれてきた歴史文化は、8つのテーマで整理することができます。

特徴①

大河と段丘を舞台に受け継がれる フロンティアスピリット

本市には大河加古川やその支流が流れ、古くから周囲の田畑を潤し、恵みをもたらしてきました。一方で、台風や集中豪雨によって流れを変え、災害が発生することもありました。また、市域には太古の地球の営みによって形成された雄大な段丘地形が広がり、年間を通じて降水量が比較的少なく、古来、水源の確保に頭を悩ませてきました。こうした地形や自然環境を基盤として、人々は様々な知恵と工夫を積み重ね、恵みを活かし、常に切り拓く力（フロンティアスピリット）をもって豊かな暮らしを実現してきました。

特徴②

人やものの交流が生まれる水陸交通の結節点

政治・経済の中心地である奈良や京都といった都、神戸・大阪等の大都市圏に近接した地域であることから、人々や物資の往来が盛んに行われてきました。加古川を中心とした水上交通と大小さまざまな街道による陸上交通の結節点として、経済的・軍事的に重要な位置にありました。人々の交流は、新たな技術や文化、考え方を受け入れる気風を育んできました。

1 水と土地を求めた挑戦

本市は、比較的降水量の少ない地域で、この地域で暮らす人々は水を得るために様々な工夫と努力を重ねてきました。得られた水は農業や生活に活かされ、貴重な水にまつわる祭礼も各地で受け継がれています。現在みることのできる豊かな水辺景観や農業景観等は、先人たちの苦勞の証しであり、現代を生きる我々の心にうるおいを与えています。

▼代表的な文化財

- ・ 弥生時代の集落遺跡
- ・ 水路やため池
- ・ 出水や洗濯場
- ・ 曾根サイフォン
- ・ 地おこしやお頭等の祭礼
- ・ 大開町開拓の碑



洗濯にも使われる出水（大島町）

2 土地を切り拓いた 古代人のあしあと

本市の原始・古代の遺跡は、東播磨を代表するような豊富な内容を持つものが多くあります。低位段丘面には弥生時代の集落遺跡、中位段丘面には古墳群や寺院が築かれ、低い土地から高い土地へと開発が進んできました。

▼代表的な文化財

- ・ 垂井遺跡等の集落遺跡
- ・ 王塚古墳等の古墳
- ・ 焼山古墳群等の古墳群
- ・ 広渡廃寺等の寺院跡
- ・ 古墳や寺院跡からの土器や瓦等の出土品



奈良～平安時代の寺院 広渡廃寺

3 大部荘開発と浄土寺

▶計画期間内に優先的に取り組むテーマです

本市にある浄土寺は播磨別所に当たり、東大寺領荘園である大部荘開発・経営の拠点として、また俊乗房重源の阿弥陀信仰の道場として創建されました。浄土寺は、創建当初から現在に至るまで人々の心の拠り所として、また地域の中心として機能しています。

▼代表的な文化財

- ・ 浄土寺浄土堂
- ・ 阿弥陀如来及両脇侍立像
- ・ 重源上人坐像
- ・ 雲光寺（長尾寺）遺跡
- ・ 八幡神社祭礼
- ・ 地藏池（にぎり池）
- ・ 寺井堰



大仏様建築の代表例 浄土寺浄土堂

4 今に残る戦いの記憶と遺産

加古川という水上交通と、大小さまざまな街道の陸上交通が交差する要衝にあり、原始時代から近代戦争に至るまでの様々な戦いにまつわる文化財が今も残されています。特に中世には、源平合戦や三木合戦の舞台に近く、赤松氏の本拠地と京都を結ぶ街道には、多くの中世城館が築かれています。

▼代表的な文化財

- ・弁慶の重ね石
- ・金鐘城遺跡
- ・河合城跡
- ・豊池城跡
- ・太閤渡し
- ・旧大門廐舎
- ・播州鉄道大門口駅



秀吉が渡った太閤渡し

6 学びの伝統が息づくまち

江戸時代、市域には一柳氏を藩主とする小野藩が設けられました。一万石の小藩でしたが、安定した政治で明治維新まで存続します。小野藩では、藩校を設け庶民や武士の教育に熱心に取り組みました。明治期には近代教育制度が整備され、現在は地域や好古館と連携した郷土教育の推進等、時代に即した特色ある教育に取り組んでいます。

▼代表的な文化財

- ・小野藩陣屋跡
- ・一柳家に伝来する美術工芸品
- ・好古館（旧小野小学校講堂）
- ・光明寺（一柳家墓地）
- ・藤森弘庵顕彰碑
- ・寺子屋や藩校の教科書や机
- ・上田三四二歌碑



寺子屋で使われていた教科書



8つの 歴史文化の テーマ



7 暮らしを守るコミュニティ

本市では伝統的に自治意識が強く、村を越えて協力し様々な課題を乗り越えてきました。小野藩政時代にも小藩であるがゆえに、村の運営は村々に任せられ、その結果自治能力が発達し、現代のまちづくりにも活かされています。近世以来の秋祭り等の祭礼も各地域で受け継がれています。

▼代表的な文化財

- ・各町有文書
- ・奥田家住宅
- ・西脇獅子舞
- ・播州首領記念碑
- ・神社と祭礼
- ・お堂と年中行事



垣田神社の秋祭りの様子

5 交流がもたらす ものづくりと技術

近世には加古川を高瀬舟が往来し、多くの人や物を運びました。舟運に携わったものの中には、近藤家のように日本有数の豪商となった家もあります。また、播州そろばんや播州刃物、綿織物業等のものづくりを中心として産業も大きく発展してきました。近現代には工場の誘致が盛んに行われ、現在も、製造業が本市の中心的な産業となっています。

▼代表的な文化財

- ・播州鎌、にぎり鋏
- ・播州そろばん
- ・近藤亀蔵屋敷跡
- ・鶴池・亀池
- ・播州鋏鍛冶之祖
- ・算盤仲間の燈籠



播州そろばんの製作

8 自然を活かした 人々の楽しみ

本市には、人々の活動と自然が一体となった豊かな風景が広がっています。古来引き継がれた豊かで美しい景観は、多くの人の心を癒しています。また、本市の持つ自然的・地理的ポテンシャルを活かし、ゴルフ場、公園・温泉施設等、観光や商業へ展開がみられ、新たな価値を生み出し続けています。

▼代表的な文化財

- ・おの桜づつみ回廊
- ・ひまわりの丘公園
- ・共進牧場
- ・小野東洋ゴルフクラブ
- ・鴨池
- ・小野アルプス
- ・鋤溪温泉（塩の井）



戦後展開した酪農業（共進牧場）

文化財を守り活かす

文化財保存活用地域計画の取組み

文化財は、地域固有の歴史や文化を正しく理解するために必要不可欠で将来の発展の礎ともなるものであり、少子高齢化や災害の激甚化等、社会が大きく変化する中においても着実に継承していく必要があります。文化財保存活用地域計画は、市民と行政、また団体や専門家など多様な人々が一体になって文化財の保存・活用を進め、オンリーワンの小野市を創造していくための計画です。

小野市総合ビジョンや総合戦略の内容を踏まえ、文化財保存活用地域計画の基本理念を「文化財の保存と活用を通じて人々の幸福を追求する」とし、令和6年（2024）度～令和15年（2033）度の10か年計画で様々な事業に取り組んでいきます。具体的には、5つの取組み分野を定めた上で、方向性1「市全域を対象とした文化財の保存・活用のための基盤強化」と方向性2「歴史文化の強みを活かした戦略的・重点的な取組みによる市の魅力の向上」に基づく取組みを両輪で進めていきます。

小野市総合ビジョンの将来像
愛着と誇りを育み 未来へ雄飛するまち
小野—エクセレントシティ—

【総合ビジョンにおける基本方針VI】
生きがいとゆとりを持てる

【小野市文化財保存活用地域計画】 基本理念

文化財の保存と活用を通じて
人々の幸福を追求する



方向性1

市全域を対象とした
文化財の保存・活用
のための基盤強化

方向性2

歴史文化の強みを活かした
戦略的・重点的な
取組みによる市の魅力の向上
(関連文化財群の保存・活用)

学ぶ 調査・研究

本市の過去から現在に至る歴史を知るため、行政だけでなく市民や大学等多様な主体が参画して調査や研究を進めることで、守るべき文化財や歴史文化の新たな価値や評価を明らかにします。

取組み例：埋蔵文化財発掘調査及び報告書の刊行
小堀城・豊地城・敷地大塚古墳等の重要遺跡について優先的に調査を行います。また、未完のものも含めて、報告書を作成し刊行します。

取組み例：寺院所蔵の美術工芸品の調査

市民ボランティアとともに、寺院所蔵の仏像や仏具等の所在調査や詳細調査を行います。



取組み例：古文書の目録作成

本市所在の古文書の目録作成を行います。特に、小野藩関係の伊藤家文書、近藤廣家文書について、優先的に取り掛かります。

活かす 活用

文化財・歴史文化を教育や観光、産業等の様々な小野市の個性あるまちづくりへと活用し、時代背景や社会的要請に応じて柔軟に対応していきます。

取組み例：学校教育における収蔵資料の活用

小中学校等を対象に、好古館に収蔵されている土器等の考古資料や民具の貸し出しを行い、学校教育の中で実物に触れながら本市の歴史文化を学ぶ機会をつくります。



取組み例：文化財のユニバーサルデザイン化

身体障がい者等へも配慮した文化財周辺のバリアフリー化、外国人に対応した多言語の看板の整備、視覚障がい者・聴覚障がい者に対応した点字看板や音声ガイドの整備等を実施します。

取組み例：体験型 VR を用いた歴史文化観光の推進

VR 技術を活用して、文化財をデジタルアーカイブとして保存するとともに、仮想型体験施設として公開します。

取組み例：ウォーキングイベント等の実施

各地域づくり協議会や観光協会などと連携して実施します。

守る 保存・管理

文化財・歴史文化を確実に保存することにより、その価値を損なうことなく小野市に生きる人々の誇りとして後世に伝えます。そのためにも、法令や条例、新たな保護制度の創設等により多様な文化財を守る仕組みを整え、適正な周期で行う修理や周辺環境の整備といったソフト・ハードの両輪に取り組めます。併せて、様々な脅威から着実に文化財を守るため、文化財の防災・防犯の取組みを推進します。

取組み例：浄土寺の保存活用計画の作成

昭和 30 年代の浄土堂解体修理からおよそ半世紀以上が経過する浄土寺について、保存活用計画を作成し、周辺環境・景観を含めた保存について検討します。

取組み例：「(仮称) 文化財保護基金」の設立

将来予想される指定等文化財の大規模修理等に備え、基金の創設を検討します。

取組み例：「(仮称) 小野市歴史遺産認定制度」の創設・運用

多様な文化財を認定することにより新たな保護制度創設を検討します。

取組み例：歴史公園の再整備

国史跡広渡廃寺跡歴史公園・金鐘城跡遺跡広場について、安心・安全な公園の再整備を行います。



防災・防犯

取組み例：防犯設備の新設

文化財の防犯対策として、防犯カメラ等の設置を推進します。

取組み例：防災教育の推進

好古館における特別展等を利用して、過去の災害等の歴史を盛り込んだ防災教育を推進します。

取組み例：文化財防災・防火訓練の実施

1月26日の「文化財防火デー」にあわせた防火訓練を継続して実施します。



伝える 情報発信

本市の文化財・歴史文化に関する情報を積極的に発信していくことにより、親しみや興味関心を持ち、担い手となり、文化財・歴史文化に関わる人を増やしていきます。

取組み例：文化財紹介映像の作成

文化財や歴史文化の特徴を紹介するプロモーションビデオを作成します。

取組み例：SNS を活用した情報発信

SNS を活用して文化財や歴史文化に関する情報発信を行います。

取組み例：小野市立好古館のリニューアル

好古館の展示リニューアルと老朽化する施設改修を実施し、レファレンスサービスの拡充を検討します。



取組み例：レプリカの作成

市外の博物館に寄託されている木造重源坐像等の文化財のレプリカを作成します。

整える 体制整備

文化財・歴史文化に関わる専門的な人材を確保し、教育的配慮のもとに研修や連携を通じて人材を育てる枠組みを構築します。併せて、市民・行政・団体・大学等の主体間の連携や庁内各課の連携関係を強化することにより、文化財の保存・活用における持続可能な体制の構築を目指します。

取組み例：

市民協働の文化財の掘り起こし
好古館を拠点として、市民と協働で地域の文化財の掘り起こしを行う。多様な世代が取組みに参加できるような仕組みを検討します。



取組み例：地域づくり協議会・NPO 団体等の活動支援

地域づくり協議会・NPO 法人等に対し、専門的な知識提供、助成金紹介、相談対応等を行います。

取組み例：

「小野ガイドひまわり」事業
観光ボランティアガイド「小野ガイドひまわり」の活動を継続します。また、研修によりボランティアの資質向上を図ります。



取組み例：伝統工芸品の技術継承への支援

伝統的な技術を継承し次世代につなぐために、後継者支援を継続します。

小野市の歴史文化に触れてみませんか？

—まずはここから、歴史文化マップ

堀井城跡ふれあい公園

世代や地域を超えた「憩い・集い・交流」することを目的として整備した歴史公園です。中世の歴史的な趣を感じながら、グラウンドゴルフ等ができます。



広渡廃寺跡歴史公園

出土品等を展示するガイダンス施設が整備されているほか、金堂等基壇が復元され、1/20の伽藍模型が設置されています。



夢の森公園・金鐘城遺跡広場

金鐘城遺跡広場には、中世の山城・金鐘城の木橋や土塁が復元されています。遠望がよく、市の周辺を見渡すことができる展望スポットとなっています。



伝統産業会館

小野市の特産品である家庭用刃物や木工芸品など多数展示されており、歴史を学ぶことができます。



小野市立図書館

郷土資料等を閲覧できるほか、上田三四二に関するミニ展示もあります。



好古館

小野藩一柳家の陣屋跡に所在する歴史博物館です。小野市の地理・歴史を常設展で紹介すると共に、地域に密着した特別展や企画展の開催を行っています。また、着付け体験や茶会等を開催しています。



浄土寺

国宝の阿弥陀三尊像・浄土堂をはじめとして、小野市を代表する多くの文化財があります。夕方になると、西日が堂内を照らす幻想的な光景が見られます。



このほかにもたくさん、歴史文化に触れられるスポットがあります。ぜひ、訪れてみてください！

文化財を支える活動に参加してみませんか？

小野ひまわり

国宝浄土寺、広渡廃寺跡歴史公園、金鐘城遺跡広場、好古館の4つの観光スポットを案内する観光ボランティアガイドです。ガイドに必要な知識等は先輩ガイドが指導します。年2～3回の研修があります。

活動時間：1回2時間、月2～3回程度

活動時期：通年

報酬：有償（交通費程度）

問合せ先：小野市観光協会

電話 0794-63-1929

好古人（こうこびと）

好古館の学芸員とともに市内の文化財調査に携わるボランティアです。文化財や調査に関する講習を受講した後、文化財の調査において、計測や写真撮影、調査票への記入等の作業を担当します。

活動時間：半日～1日

活動時期：不定期

報酬：無償

問合せ先：小野市立好古館

電話 0794-63-3390

ご相談はこちらまで

小野市立好古館

〒675-1375

小野市西本町 477

電話：0794-63-3390

FAX：0794-63-3462

好古館ホームページ▶



小野市教育委員会

令和5年12月発行

